



こんにちは!

# 市議員 井坂博文 です



連絡先/日本共産党北地区委員会：京都市北区紫野雲林院町 78 / 電話 432-3261 / FAX441-4968

## 5月市会代表質問の報告

5月27日の市会本会議、日本共産党から私と富樫豊議員が代表質問に立ちました(写真)。私の主な質問と答弁を紹介します。全文は市会議員団のホームページにアップしています。



### 自衛隊への宛名シール提供について

京都市が市会議員選挙の投票日を待っていたかのようになり4月8日、自衛官募集のために18歳と22歳になる青年の宛名シールを自衛隊に提供し、自衛隊は直ちに幹部候補生の対象になる22歳の青年にダイレクトメールを送付しました。



副市長は2月市会で、京都の青年が海外で殺し殺される可能性は「ゼロではない」と答弁していました。それが仮定の話ではなく、防衛省のホームページで自衛隊の職務が戦闘地域での戦闘行為を想定した戦闘訓練をしていることをパネルで示して追及しました(写真)。



### 消費税増税と京都経済の認識について

また、国民が注目している消費税増税問題について2月議会で市長が「京都の景気は緩やかに回復している」「消費税増税は国が決めること」と答弁したことをあげて改めて認識を質し、「その後も景気動向に関する指標は悪化しており、増税すれば市民生活や京都経済に壊滅的な打撃を与える、との認識があるのか」と追及。

市長は「京都の雇用情勢は高い水準、倒産件数は低水準、観光消費は堅調」と実態を見ない認識に終始し、国に増税中止を求めることも拒否しました。これでは市民生活と京都経済は守られません。

### 介護保険認定業務の嘱託職員雇い止めについて

2月議会でも指摘した介護保険認定業務の集約化(区役所から本庁一カ所に)する問題について、民間業者に委託化、担当職員の雇

い止めをやめるよう強く求めました。副市長は「認定業務が増えているので限られた人材の中で効率的な認定業務にするのに必要」と居直りました。全くひどい!

### 国保料の引き下げについて

国保料について、国に公費1兆円の投入を求め、市自らも一般会計繰り入れを増やし、払える保険料に大幅な引き下げを求めましたが、局長は「国保の構造的問題は解決していない」と認めつつ、引き下げは冷たく拒否しました。



選挙中も「国保料の引き下げ」を訴え。

### 核兵器禁止条約と「被ばく安全神話」について

今回の質問で初めて「被



ばく安全神話」を取り上げました。

文科省が全国の小中学校高校に直接配布している「放射線副読本」を示して(写真)、副読本が「日常生活にも放射線はある」「影響は気にするほどのものではない」「風評被害」と記述し、被ばくの安全神話を助長していると追及。

滋賀県野洲市が副読本を精査して、問題ありと判断し回収しています。本市でも精査して回収するよう求めました。

答弁に立った教育長は、副読本の記述を全面的に擁護して「被ばく神話を一方的に助長するものではない」と答弁し、回収することを拒否しました。答弁を聞いて唖然としました。

野洲市の判断と対応を否定し、国を擁護する京都市に市民の命と安全を守る資格はありません。